

免許状教科	高等学校 1 種（地理歴史）		
科目名	地理歴史科教育	科目分類	教職科目
			経済学部 ■必修 □選択
英文表記	Geography and History Education	開講年次	□ 1 年 □ 2 年 ■ 3 年 □ 4 年
		開講期間	□ 前期 □ 後期 ■ 通年 □ 集中
ふりがな	かまだ ゆきお	修得単位	4 単位
担当者名	鎌田 幸男	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用
授業のテーマ	・教育実習に役立つ学習内容と教育技術や指導方法を身につける。		
到達目標	地歴の授業に役立つ教育方法と教材研究の意義を具体的に知る。 1 教材研究とはどのようなことか、その意義を考える。 2 わかる授業とはどのような学習指導のことか。どのように学習するか。 3 学習指導案を作成する。学習活動ととくに指導上の留意点について考える。 4 地歴教育の今日的な課題を考える。		
授業概要	学習指導要領の意義について考える。その改訂の歴史と変遷を理解する。また学習指導とはどのようなことかを理解する。指導案の作成、教材研究の意義、教材の精選とは、授業方法などを考える。また模擬授業の意義を考える。授業者と生徒役の学生とで、お互いに授業を通じての意見交換をして、授業意識の高揚を図り、評価力を高め教育実習に役立てる。パワーポイントの作成と授業での使い方、電子黒板の使用法、板書事項をどうするかなどを考える。模擬授業の回数は受講者数により変更がある。		
授業計画			
第 1 回	オリエンテーションー授業の計画と模擬授業概要の説明	第 17 回	学習指導案の作成と教材研究のこと（1）
第 2 回	教育課程のしくみと意義について	第 18 回	同（2）
第 3 回	学習指導要領のしくみと意義について	第 19 回	模擬授業（1）地理。
第 4 回	学習指導要領の歴史と変遷（改正）について（地理）	第 20 回	模擬授業（2）地理。
第 5 回	具体的に学習指導要領とはどのような内容のものか	第 21 回	模擬授業（3）公民。
第 6 回	新学習指導要領の概要について	第 22 回	模擬授業（4）公民。
第 7 回	アクティブラーニングと反転授業について	第 23 回	振りかえりと意見交換 公民・地理の分野（1）
第 8 回	器材を用いた学習指導法の具体的な見学（2）（歴史）	第 24 回	模擬授業（1）歴史。
第 9 回	器材を用いた学習指導法の具体的な見学（3）（公民）	第 25 回	模擬授業（2）歴史。
第 10 回	器材を用いた学習指導法の具体的な見学（1）（地理）	第 26 回	模擬授業（3）歴史。
第 11 回	模擬授業を受ける側（学生）の受け方について	第 27 回	模擬授業（4）歴史。
第 12 回	模擬授業の準備と実施について	第 28 回	振りかえりと意見交換 歴史的分野（2）
第 13 回	模擬授業の立案構想を立てる。発表する	第 29 回	授業することの意義と評価
第 14 回	指導案の意義と作成について	第 30 回	まとめ①
第 15 回	学習指導案の評価について	第 31 回	まとめ②
第 16 回	前期定期試験	第 32 回	後期定期試験
授業時間外の学習	1 学校のおかれている自然環境を知る。 2 その地域の社会環境を知る。3 博物館や資料館の見学をする。		
履修条件 受講のルール	1 教職の資格を取得するというばかりでなく、教師としての意識を持ち、授業に前向きな姿勢と態度をもって授業に臨んでほしい。 2 模擬授業では教材研究を深くする。それは次の授業に生きることになる。		
テキスト	テキストは使用しない。		

参考文献・資料	「高等学校学習指導要領解説（地理・歴史編）最新版。その他は講義時に随時紹介する。
成績評価の方法	① 定期試験(50%)—前期 (25%) 後期 (25%) ②指導案 (20%) と模擬授業 (30%) , ①②の総合評価とする。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	月・火・金曜日 9 : 00—10:30)。これ以外の場合は事前連絡により日程の調整をする。
成績評価の基準	秀 (100～90) 優 (89～80) 良 (79～70) 可 (69～60) 不可 (59 点以下)
学生への メッセージ	① 教職を意識した受講になるよう意欲的に頑張る。 ② 授業その他の物事に前向きな姿勢と態度をもって臨んでほしい。